

組織目標評価報告書（平成22年度）

部局名： アドミッションセンター

	組織目標	達成状況(成果)
教 育		
		達成度: 4 3 2 1
研 究	入試の在り方と改善に関する次の調査・研究を行い、入試の改善に資する。 1. 入学者選抜方法の分析と妥当性の調査 2. AO入試の一期生を追跡調査(入試時の成績、在学時の成績、進路(薬学部薬学科を除く))する。	入試の在り方と改善に関する調査・研究を行った。 AO入試の一期生を追跡調査(入試時の成績、在学時の成績、進路(薬学部薬学科を除く))し、併せて一般、推薦入試も含めて分析を行った。 この分析結果を基に、各学部が入試改善(AO、推薦入試)を検討し、次年度に今後の方向性を示す予定である。
		達成度: 4 3 2 1
セ ン タ ー 業 務	1. 優秀な学生の確保 大学全体のアドミッションポリシーの構築を進める。 本学が求める資質を持った入学者の獲得のために、戦略的な広報を行う。 2. 学部入学制度の改善 学部入試制度の改善に努め、受験生等にわかりやすい入試を目指す。 国際バカロレア・ディプロマ資格を有する者の入試制度及び総合入試(募集単位の拡大)制度の導入を検討する。 3. 大学院入試制度の改善 優秀な学生の確保を目的として、入学者選抜方法を更に改善する。	1. 優秀な学生の確保として 大学全体のアドミッションポリシーの構築を進めるために、各学部のディプロマポリシーを収集し、検討中である。 入学者の獲得のために、関西圏の志願者を増加させる広報を展開し、初めて、京都、大阪で説明会を実施した。 2. 学部入学制度の改善 研究調査をもとに、各学部へAO・推薦入試制度の改善を依頼し、次年度に方向性を示す予定である。 国際バカロレア・ディプロマ資格を有する者の入試制度を検討した結果、次年度から実施ことになった。 総合入試(募集単位の拡大)制度は、高等学校の進路指導担当教官及び高校2年生へ、アンケート調査を実施した。この調査内容分析し次年度以降に実現可能か検討する。 3. 大学院入試制度の改善 大学院WGを開催し、各研究科の入試広報の意見交換を行った。 この結果を基に次年度以降の広報の在り方について検討する予定である。
		4 3 2 1
社 会 貢 献		
		達成度: 4 3 2 1
【自己評価総括記述欄】※目標及び指標の達成状況について総括し、次年度に向けた改善点等を記載してください。		

【達成度】 4:非常に優れている 3:良好である 2:概ね良好であるが改善の余地あり 1:不十分であり改善を要する

注)本様式は一般的な学部・研究科用であり、部局の特性に合わせて設定した領域・指標により修正してください。